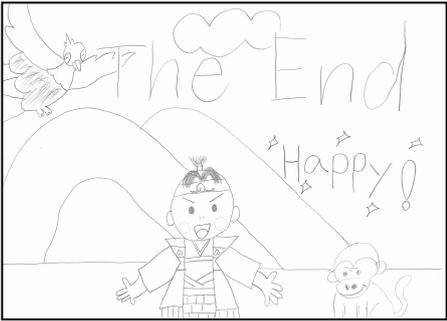


学年	6年	教科	総合	単元名	昔話（ももたろう）を英語で話そう	
学校名	大石田町立大石田南小学校			実践者	青山 博文	
本時の学習活動	物語の場面に合わせた絵と英語のせりふを入れたスライドを作成する					
ICT活用のねらい	【1 教員による活用】			【2 児童生徒による活用】		
1-1 2-3	1-1 興味関心を高める 1-2 課題を明確につかませる 1-3 思考や理解を深める 1-4 知識の定着を図る			2-1 情報を収集・選択する 2-2 文や図表にまとめる 2-3 発表したり表現したりする 2-4 知識や技能の習熟を図る		
活用する機器・ソフト・コンテンツ等	PC, IC レコーダー, スキャナー, PC ソフト(一太郎スマイル)					
学習形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習		<input checked="" type="checkbox"/> グループ学習		<input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	
活用の場面・方法	<input type="checkbox"/> 導入の場面		<input type="checkbox"/> 展開の場面		<input checked="" type="checkbox"/> まとめの場面	
	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎の物語をPCを使い紙芝居(スライド)の作品にする。せりふは、ALTの発音をもとにした英語(子どもの声)にする。 ・グループで取り組み、分担分けした制作したスライドを集約し1つの作品に仕上げる。 					
活用のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・PCの活用として次の場面を考えた。 ・プレゼンテーションソフトによるスライド作成。 ・ALTの音声ファイルをサーバーに取り込み繰り返し練習できるようにした。 ・スキャナーを活用し、絵をスライドに取り込む手間を省いた ・グループで作成することにより、作品づくりの負担を軽減することができた。 					
児童生徒の学びの様子	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が担当する桃太郎の場面の絵を描き、スキャナーで取り込み、その画像をスライドにはりつけている。 ・サーバーから自分の場面のALTの音声ファイルを探し、英語での発音を練習している。自分が自信を持てるまで何度でも練習ができる。 ・ICレコーダーに自分のセリフを録音し、サーバーに保存している。 ・スライドに自分のセリフの音声ファイルを貼り付け、物語の場面を完成させ、サーバーに保存している。 					
活用の様子(写真)						
実践を通して感じたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のように、物語を場面分けし、自分の担当をはっきりさせると、子ども達の制作に対する意欲を高めることができる。 ・スライドへの画像や音声の貼り付け方法については、画面のハードコピーをプリントして配布することにより、何度も説明することなく作業が進んだ。 ・ALTの手本となる発音を音声ファイルにして保存しておく、子どもが必要に応じて繰り返し練習することができ、自信を持って自分のセリフを話すことができた。 ・操作法に習熟した子どもが、他の子の作業を手伝ったり、相談役になったりし、学び合う場面があった。 					